

「工芸と観光」 マッチング交流会・出展者ライトニングトーク

11月25日(土)

工芸をテーマにした特別なツアーや体験などをお持ちのさまざまな自治体や団体が集まります。
点と点がつながり、新たな工芸の道ができるチャンスです。



会場：石川県立美術館・ホール／講義室、石川県立歴史博物館・多目的ホール、
石川県立美術館・広坂別館の和室

時間：10:30～17:00（受付：9:30～）

住所：石川県立美術館：金沢市出羽町 2-1

石川県立歴史博物館：金沢市出羽町 3-1 / 石川県立美術館・広坂別館：金沢市出羽町 1-1 / 交通：金沢駅（6番のりば）より兼六園シャトルで約15分、「県立美術館・成巽閣」下車、徒歩約2分。金沢駅（3番のりば）よりバス約15分、「広坂・21世紀美術館（石浦神社前）」下車、徒歩約5分（3会場隣接）

参加費：2,000円 / 定員：200名

10:30～15:00

全国の工芸「プレミアム体験」「予約なし受け入れ」を集めるマッチング交流会

会場

石川県立美術館・講義室、石川県立歴史博物館・多目的ホール、

石川県立美術館・広坂別館の和室

50の出展者のマッチングテーブルを、各会場に振り分けて配置。出展者には「特別性と稀有な体験」を売るプレミアムで通常非公開の内容と、「定期的に提供できること」の二極を準備して、情報を掲示いただきます。「工芸マニアが通る！列島横断ライン構築！」をテーマにしたエリアも。

15:00～17:00

出展者ライトニングトーク

会場：石川県立美術館・ホール

50の出展者が「2分間ライトニングトーク」を開催します。

進行：岩間禎子 [いわせきともこ]

一社) ザ・クリエイション・オブ・ジャパン (CoJ) 専務理事兼事務局長

※出展ご希望のかたへ

マッチングテーブル1台+ホールにおけるライトニングトーク(PR2分間)をご希望のかたには、プラス3,000円の事務経費がかかりますことをご了承ください

100年後に残る工芸のために 「工芸と観光」国際会議

11月26日(日)

日本の工芸の未来をつくる

各界リーダーズ & 工芸有識者 円卓会議

本祭典の実行委員会、及び連携機関代表者、工芸に関係するあらゆる立場の方がたにお集まりいただき、工芸の未来を拓くための意見交換を行います。

テーマは「工芸と観光 いかにかに工芸を伝えるか」。

理解されにくい工芸の魅力、歴史、そして価値を、わたしたち一人ひとりが海外の人や次の世代に、どう伝えていくかが議題となります。

この会議は、全員参加型で課題解決に向かう、特殊なスタイルで進行いたします。工芸の明日を拓く礎となっていく会議です。

別紙「会議事前調査票」にご意見をご記入いただき、事務局宛ご返送くださいますようお願いいたします。

会場：いしかわ総合スポーツセンター・サブアリーナ

21世紀鷹峯フォーラム 21st Century Takagamine Forum

第3回

石川 金沢

Ishikawa Kanazawa

Core 2017年10月6日(金) - 11月26日(日)

百万石ものがたり 工芸の祭典

工芸と観光

新たな市場へ向かうための「シンポジウム」「マッチング交流会」
そして全国有識者「円卓会議」が続く、「工芸と観光」元年を飾る3日間

11月24日(金) - 26日(日)

日本のものづくり力を観光の力に変える取り組みや、オープンファクトリー、クラフトツーリズム、プレミアムツーリズムなどの展開が、全国各地に少しずつ増えてきました。この分野に取り組む方々のネットワークづくりを目的としたシンポジウム、交流会を2日間にわたり開催します。そして3日め、21世紀鷹峯フォーラム最終日、全国の有識者による「円卓会議」へと続き、会議の締めくくりには「工芸と観光」元年と呼ぶにふさわしい石川・金沢提言を発表します。

「工芸と観光」の世界では、さまざまな立場が生まれます。

- 1) 地域の魅力をPRし、観光客を呼ぼうと「企てる人」 / 2) 観光客、工芸ファン、工芸に関心の高い人を産地へ「送る人」
- 3) 観光案内として、ガイドとして「受け入れる人」「案内する人」 / 4) 販売店、飲食店として「受け入れる人」
- 5) 美術館・博物館・産業館として「受け入れる人」 / 6) つくり手として「受け入れる人」

みなさまはどれに当たるでしょうか。

現代では、地域の活性化を考える人 / 国際的に工芸ファンを誘客する / 日本の魅力となる文化に触れる場を提供する / 会議を開催する / 情報を整備する / 交通の道をつくる、輸送する / 翻訳、通訳する……という立場に関わる方も多くなりました。

明日のために共創しながら、日本の工芸チーム形成に向けた特別な3日間にぜひご参加ください。

主催：100年後の工芸のために普及啓発実行委員会 オールジャパン工芸連携京都 / 東京 / 石川金沢実行委員会 一社) ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
助成：石川県、金沢市

Day 1	11月24日(金)	「工芸と観光」展望と課題シンポジウム	会場：石川県立美術館
Day 2	11月25日(土)	「工芸と観光」マッチング交流会・出展者ライトニングトーク	会場：石川県立美術館ほか周辺施設
Day 3	11月26日(日)	100年後に残る工芸のために 工芸有識者「円卓会議」	会場：いしかわ総合スポーツセンター

各日参加費=2,000円 3日間共通参加費=5,000円

参加申込方法：添付のファクス返信用紙、もしくは公式ウェブ takagamine.jp からお申込みください

「工芸と観光」展望と課題シンポジウム

11月24日(金)

観光の1アイテムとしての工芸の発想から、工芸が観光の力によってよきものを生み出す流れへ。魅力ある工芸が地域を輝かせる力となるために、よきものづくりと観光の積極的な相互作用を全国規模で考える、初めての集いです。



会場：石川県立美術館

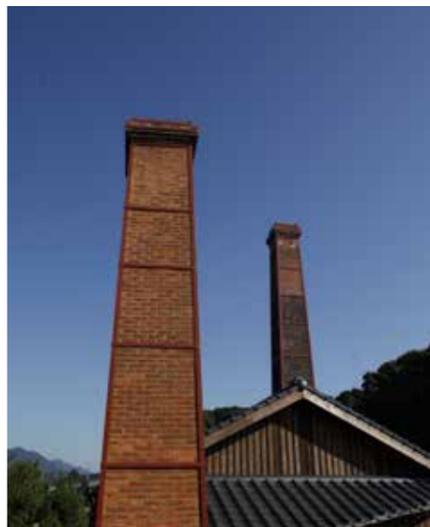
時間：10:30～17:00（受付：9:30～）

住所：金沢市出羽町 2-1

交通：金沢駅（6番のりば）より兼六園シャトルで約15分、「県立美術館・成巽閣」下車、徒歩約2分。金沢駅（3番のりば）よりバス約15分、「広坂・21世紀美術館（石浦神社前）」下車、徒歩約5分

参加費：2,000円

定員：200名



10:30～11:45 全体会議1

登壇者 ハンスピーター・カペラー

登壇者 山田立

登壇者 長田将吾

モデレーター 山田浩

全体会議1

工芸と観光、新たな市場へ向かうマインドセット

送る側、受け入れたい側、互いに協力して、どのような工芸の魅力を研ぎ澄まして発信する？ どうもてなす？ 日本版DMOについて学ぶ。

(各自昼食休憩)

13:00～13:40 全体会議2

発表者 岩関禎子

工芸と観光自治体3部門への調査結果と分析

カスタマー視点の最低限の準備を、仲間で固まって整える。

13:50～15:20 分科会A

ファシリテーター 林口砂里

工芸と観光 現場で困ること解決！参加者ワークショップ

技術研鑽したい現場での、観光客に対応することで割かれる時間と手間をどう換算？お店でない場所が発注した場合の輸送は？ 観光客にとっての、迎える側にとっての、悩ましいこと。現場における悲喜こもごもを共有し、解決策をつくりませんか。

15:30～17:00 分科会B

ファシリテーター 水野雅男

学びの場でも、買う場でも、つくり手と観客が「直接向き合う」のは良策？

双方の意識を整え、あいだを取り持つプロの力を、この時代に改めて活かす必要があるのではないのでしょうか。紹介者、専門家から世話人、地域のボランティアまで。語り部がいてこそ、工芸がかけがえのない「体験」となしていきます。

登壇者(全体会議1)
ハンスピーター・カペラー



ブランディング・コンサルタント

スイス・エビコン生まれ。1972年より日本に在住。チャンネル日本副社長、クリスチャン・ディオール日本CEO、ウェッジウッド日本CEOを経て、現在カペラー・マネジメントサービス(KMS)(株)CEO・オーナー。

登壇者(全体会議1)
山田立



やまだ・りつ
株式会社玉川堂 番頭/
第5回 燕三条工場の祭典実行委員長

百貨店での勤務を経て、ものづくりのまち・燕三条で200年鋳起銅器を製作している株式会社玉川堂に入社。燕三条地域全体の産地の発展に尽力している。今年で5回目を迎えたオープンファクトリーのイベント『燕三条 工場の祭典』では4日間の会期で53,000名を超える来場者を動員した。

登壇者(全体会議1)
長田将吾



ながた・しょうご
観光庁 観光地域振興部
観光地域振興課 主査

モデレーター(全体会議1)
山田浩



やまだ・ひろし
一社) ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
(CoJ) クリエイティブ・ディレクター

流通企業セブン&アイホールディングスのシンクタンクであるセブン&アイ生活デザイン研究所を経てワンダーラポアアジア設立。東京手仕事、湯道など伝統工芸をユニークな切り口とアイデアで国内外に発信する工芸事業ディレクター。

発表者(全体会議2)
岩関禎子



いわせき・ともこ
一社) ザ・クリエイション・オブ・ジャパン
(CoJ) 専務理事兼事務局長

ファシリテーター(分科会A)
林口砂里



はやしぐち・さり
アートプロデューサー/
エビファニーワークス代表

現代美術、音楽、デザイン、仏教、科学と幅広い分野をつなげるプロジェクトの企画/プロデュースを手掛けている。また、2012年より拠点を高岡市に移し、東京と富山の二地域居住を続けながら、地域振興プロジェクトにも取り組んでいる。

ファシリテーター(分科会B)
水野雅男



みずの・まさお
NPO 法人金沢クリエイティブツーリズム
推進機構副理事長/法政大学教授

地域計画コンサルタントを経て、(有)水野雅男地域計画事務所主宰、金沢大学教授を経て2011年より現職。カナダ・ソルトスプリング島でのスタジオツアー経験を基に、クリエイティブツーリズム活動を2010年に立ち上げた。